

台風 13 号時発生 of 洪水による産廃処分場予定地の大崩落

(ドローン空撮による状況調査の概要報告)

2023.10.10

県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

(文責) 鈴木 鐸士

日立市では、9月8日の6時15分までの1時間に93mmの降雨量を記録した。鮎川の下流域の各所で河川氾濫が起り、多くの建物に浸水被害が発生し、唐津沢流域でも、凄まじい洪水の爪痕を残した。産廃処分場予定地では、道路は、全域に渡り流木土石が散乱し、場所によっては路面に甚大な破損が発生した。

唐津沢上流域の下流端で、谷底へ向かう道路の分岐点（下図の赤丸印地点）では、激甚な洪水（青色の矢印方向）により、分岐した道路付近を起点として、広範囲の地盤（推定：最大長さ約80m、最大幅約30m、最大深さ約7m）が崩壊し、その土石が遥か離れた湖の南端部まで流下し、その周辺に堆積した。

また、次の頁の流域図に示すように、崩落現場（赤丸印地点）は、上流域 A62.09ha の下流端に位置し、その下流にひょうたん型の廃棄物槽が設置される。県は今ある湖（湛水）を埋立し、そこへ廃棄物槽を造る。その湖の位置は、廃棄物槽の底面（白く抜けている部分）の位置とほぼ同じと考えると状況を理解し易い。

崩落現場には、水防法規定の降雨時（153mm/hr）に18.5 m³/s の洪水が発生すると予測されているので、この度の豪雨時（93mm/hr）には、流量約11 m³/s の洪水が発生したと推測される。

9月30日には、空撮による動画と145枚の静止画で、崩落現場を調査したので、取り急ぎ、5枚の航空写真（静止画像）を提示することにより、その概要を報告する。

それらの写真は、「私たちが洪水の発生を予想し危険だと主張してきたこと」が実証されたことを示す。しかし、県や市が、今も唐津沢上流域からの激甚な洪水に対する防災対策を無視し続けて、全く無防備な

のは大変危険なことである。

このままで、廃棄物槽を造り、廃棄物を積み上げてしまうと、豪雨時には、槽もろとも廃棄物を押し流して、熱海の惨事の二の舞いになると懸念される。

県や市は、直ちに計画を見直すべきであり、是正措置が不可能であれば、建設計画を早期に取り止めるべきである。



左図：唐津沢産廃処分場予定地

この図は、グーグルアースによる北側上空から見た展望図である。赤丸印地点：崩落の起点を示す。青色の矢印：唐津沢上流域 A からの洪水の流れ方向を示す。



左図：流域図
この図は、県の基本計画図に加筆したものである。赤丸印地点は、唐津沢流域の上流域 A の下流端を示し、この位置で、矢印方向の洪水流により甚大な地盤崩落が発生した。その起点は、新設搬入道路のトンネル出入口の近傍に位置する。

航空写真の説明

- ① 崩落現場：上空から真下を見た写真であり、沢本流と分岐道路経由の二つの流下経路が判る。2台の車両付近の水路が崩落の起点で、そこから湖南端部までの水平距離は約180mで、高度差は約80mである。目立った崩落は、起点から約80mの範囲に認められる。谷底へ向かう道路の分岐点付近は、広範囲に崩壊し深い所は7~8mの深さにもなっている。分岐した道路面には、洪水の洗掘り作用により形成されたと見られる目立った溝が分岐点から約30mの範囲まで認められる。(これらの状況は、他の近距離からの鮮明な拡大写真から明確に確認できる)
- ② 東側から見た崩落現場：東側上空からの展望で、二つの流下経路と湖南端部の土石堆積が判る。中央の岩肌に深く掘られた唐津沢本流は、被覆していた地盤の崩落で、むき出しになったと見られる。崩落以前には、本流の流れは迂回されて、⑥の写真のように地表面はなだらかだった。
- ③ 東側から見た崩落現場(拡大1)：近づいた写真で、地盤崩落の範囲が広いことがよく判る。広い自然のままの岩壁がむき出しになり滝になっている。ここからは斜面の傾斜が急になる。
- ④ 東側から見た崩落現場(拡大2)：崩落の起点付近の写真で、地盤崩壊の凄まじさがよく判る。谷底へ向かう道路の分岐点付近の分岐した道路面は、大部分が崩落し、僅かながら残った路面が見られる。露出した管の外径は1.4mだから、崩落部の深さはその5倍の7m以上はある。
- ⑤ 崩落現場から湖面方向：湖面方向を見下ろした写真で、唐津沢本流の湖までの経路がよく判る。
- ⑥ 崩落以前の現場：上空から真下を見たヤフーの航空写真であり、崩落の起点付近の分岐道路の状況がよく判り、崩落以前には、唐津沢本流は迂回されていた為、その下流の今回地盤崩落が発生した区域の地表面はなだらかな状態であったことが確認できる。
また、建設予定の廃棄物槽および搬入道路のトンネル出入口の位置との関係がよく判る。

*まとめ：県や市が、上流域からの激甚な洪水に対する防災対策を無視し続けるのは許し難い。



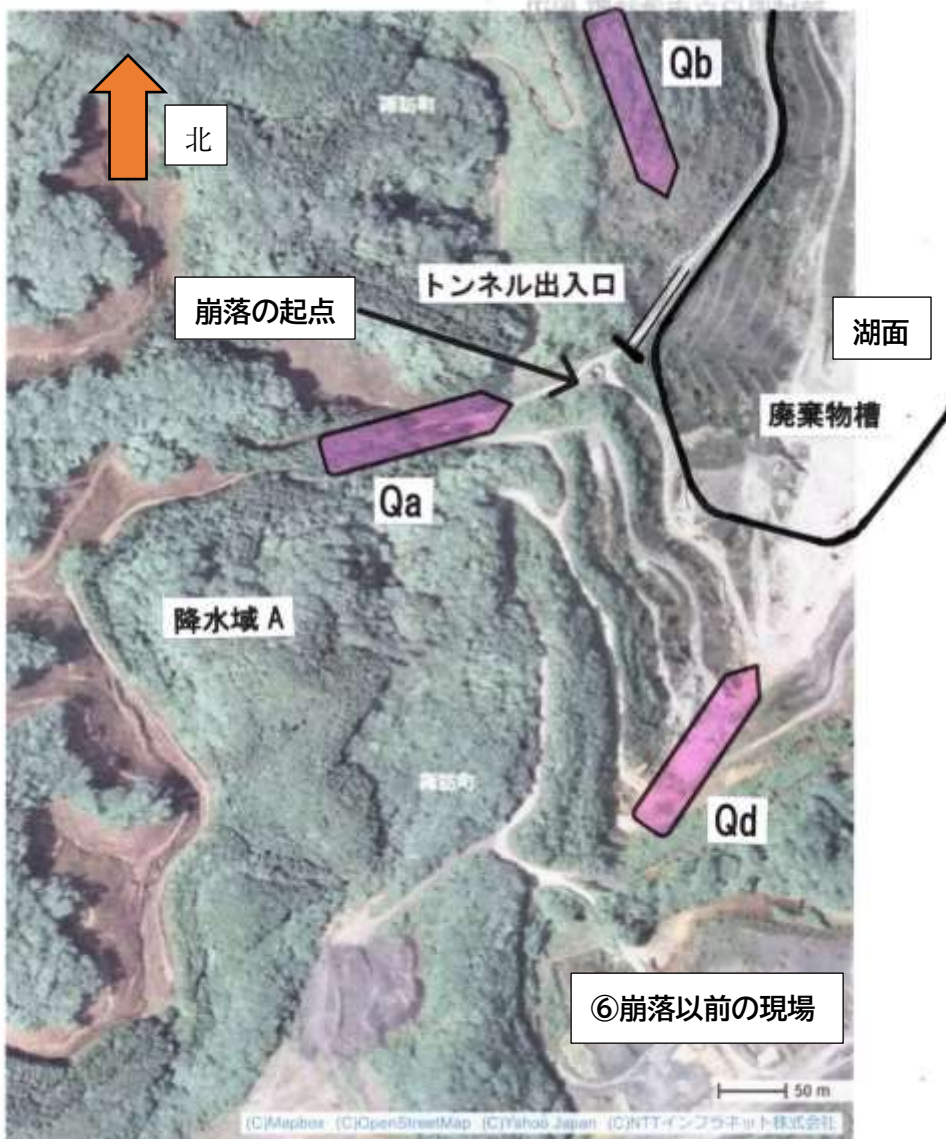
崩落の起点



③東側から見た崩落現場（拡大1）



④東側から見た崩落現場（拡大2）



唐津沢上流部降水域の航空写真

左の図は、ヤフー地図の航空写真を基にしたものである。崩落前の谷底へ向かう分岐道路と唐津沢本流を迂回させるための円形槽が明確に判る。本流が迂回され谷間は埋まっていたので、崩落した区域の地表面は、なだらかな状態であったことが確認できる。また、建設予定の廃棄物槽および搬入道路のトンネル出入口の位置との関係がよく判る。